

# 藤村まさたか NEWS

藤村昌隆  
府政事務所

長吉長原西2-3-17 サンハイツ1階  
TEL.6707-2141 FAX.6227-8141

<E-mail>  
fujimura.masataka@komei-fu.com  
<URL>  
http://masa-fujimura.jimdo.com/



## 藤村まさたかの2014年春の府議会レポート

### 大阪版「災害派遣福祉チーム(DCAT)」と「こころの医療チーム(DPAT)」の創設が決定

#### 災害派遣チーム創設へ 大阪府

大阪府は、災害時に必要とされる「災害派遣福祉チーム」(DCAT)と、「こころのケアチーム」(DPAT)を創設することを表明した。今月開催された大阪府議会本会議で、公明党の藤村昌隆議員の一般質問に答えた。



藤村府議

また、被災地での精神的な医療やケアを行うDPATも提案し、府の地域防災計画やアクションプランに両チームの活用を位置付けるよう求めた。これに対し、府側はDCATとDPATについて、これまでの災害時の経験を踏まえ、市町村や各関係団体と連

#### 公明府議が提案 福祉や精神的ケアに対応

地域防災計画の見直しに関連し、「避難所などで体調を崩したり亡くなる高齢者が多かったことなど、東日本大震災の教訓をしっかりと反映させることが大事だ」と指摘。災害時の緊急医療だけでなく、緊急介護、緊急福祉に携わるDCATを創設すべきだと訴えた。

携し、専門的な研修や訓練、人材の養成に力を注ぎ、両チームの創設をめざすことを明言。その上で、地域防災計画や地震防災アクションプランに、両チームの取り組みを明記していく方針も示した。

▲3月28日付公明新聞に掲載

3月3日の府議会一般質問で、東日本大震災の教訓を踏まえ、災害発生直後から高齢者や障がい者が避難所などで介護や福祉的ケア、および被災者へのこころのケアが可能となるよう、専門チーム(介護・福祉=DCAT、こころの医療=DPAT)の創設を提案。この度、府は専門チームの創設を決定しました。

#### 一般質問での主な質疑

- 「がん教育」の充実
- 犯罪被害者支援の強化
- 府営住宅の市への移管
- 動物愛護・殺処分ゼロの取組み
- 発達障がい児・者支援に対する府民への啓発強化

### 「高校生奨学給付金」を国基準で支給すべき 問題点を厳しく追及、府の予算修正を実現

#### 1 国の奨学給付金制度とは(H26度創設)

- 市民税非課税世帯に対し、授業料以外の教育費負担を軽減(26年度は1年生、翌年度以降学年進行)
- 支給額(年額、全日・定時制)は以下の通り
  - ・生保世帯の生徒⇒32,300円
  - ・第1子の生徒⇒37,400円・第2子以降(要件あり)⇒129,700円

#### 2 全国で大阪府のみ支給を限定する案を発表

- 大阪府は独自で対象費目を限定し、支給額が国基準に達しない場合も差額は支給しない案を発表

費目	教科書代	学校徴収金	制服代	定期券代	体操服代	通学カバン・文具代
国	○	○	○	○	○	○
府	○	○	×	×	×	×

#### 3 公明党は「国基準に戻すべき」と予算修正

- 教育常任委員会にて「府の高校生のみ支給格差が生じることは許されない」と問題点を追求
- 知事は制度を一部訂正するも問題が未解決なことから、公明党は予算修正を提案。3月24日の本会議にて賛成多数で可決(大阪維新の会とみんなの党は反対)され、国基準通りの支給が実現



本会議で予算修正を提案▶

### 交通危険箇所を改善に取り組みました!



平野区加美西1・2丁目交差点に歩行者用信号機を設置(H26.3.7)



出戸南交差点(ダイエー前)の南北信号機

視覚障がい者用音響装置を設置(H25.11.14)